

日本における喫煙とがん死亡についての相対リスク\*と人口寄与危険割合\*\*—3コホート併合解析研究(1983年～2003年)

がん種	男		女	
	相対リスク	人口寄与危険割合(%)	相対リスク	人口寄与危険割合(%)
全がん	2.0	39	1.6	5
口唇・口腔・咽頭	2.7	52	2.0	7
食道	3.4	61	1.9	12
胃	1.5	25	1.2	3
肝・肝内胆管	1.8	37	1.7	5
膵臓	1.6	26	1.8	8
喉頭	5.5	73	—	—
肺	4.8	69	3.9	20
子宮頸部			2.3	9
腎盂を除く腎臓	1.6	30	0.6	-1
尿路(膀胱・腎盂・尿管)	5.4	72	1.9	3
骨髄性白血病	1.5	35	1.0	0

\* 相対リスク: たばこを吸わない人を1として、たばこを吸う人のがんのリスクが何倍になるかを示す指標

\*\* 人口寄与危険割合: がんの原因のうち喫煙がどのくらいの割合を占めるかを表す指標(%)

(注)人口寄与危険割合は、相対リスクが1の場合は0となり、相対リスクが1未満の場合は負の値となります。

資料: Journal of Epidemiology, 18: 251-264, 2008